

科目区分	専門分野	授業科目	地域・在宅看護論実習Ⅲ
講師名	実習担当者	開講年次	2年2学期～3年2学期
単位数（時間）	2単位（90時間）		
目的：疾病や障害を抱えながら在宅の場で生活している療養者及び家族を総合的に理解し、健康管理と生活を支援するための基礎的知識、技術、態度を養う			
目標：			
1. 継続した医療管理やケアを必要とする療養者を支える看護師の関りを述べる。			
2. 地域で生活する療養者と家族を支える社会制度を総合的に理解し、多職種との情報共有の在り方と看護師の役割を理解する。			
3. 中山間地域における医療・看護の在り方を知る。			
4. 看護者として必要な態度を養う。			
授 業 内 容			
1. 疾病や障害を抱えながら生活している療養者と家族の理解			
1) 生活の変化から気づく看護師の観察			
療養者や家族の思い・療養者や家族のニード・療養者と家族の関係性・些細な会話からの変化への気づきと対応・療養の場におけるフィジカルアセスメント・症状別アセスメント			
2) 療養の場における看護ケア			
介護力のアセスメントと調整・ケアの実際・ケア方法の指導・家族の健康維持			
2. 療養者と家族を支える社会制度と看護師の役割			
療養を支える人々・機関・活用しているサービス・療養者と家族のニーズの把握・地域の実情の把握や情報提供・あらゆる手続きの支援・多職種との連絡調整・社会資源の整備			
3. 中山間地域の診療所			
1) 中山間地域におけるプライマリケア			
療養者の抱える問題への対処・継続的なパートナーシップ・最初の第一線の関り・総合的に療養者を捉える			
2) 地域の病院・施設との連携			
中山間地域における診療所の役割・病院との情報共有			
4. 看護者として必要な態度			
授業方法	臨地実習		
評価方法	看護の実際の観察（ %）、実習レポート（ %）、実習態度（ %）、出席状況（ %）		
テキスト	在宅看護論：医学書院、 系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③：医学書院		
備考	実習要項で提示された授業資料、事前学習をする。		